

集落

集落行事



喜界島には37の集落があります。小さな島ですが、集落の結びつきは濃いです。集落行事は多く、敬老会や入学祝いなどの島の島でも見られる行事から、「ソーメンガブー」など喜界島独特の行事もあります。マラソン大会、体育大会など、町全体で行う行事も活発です。

集落の主な行事

1月	新年会、元旦駅伝、敬老会、成人式(1月2日)	7月	町内一斉ボランティア、六月燈
2月	島唄、島ゆみた大会(方言劇など)	8月	夏まつり、盆おどり、集落運動会
3月	俊寛ジョギング大会、卒業祝い、教職員送別会	9月	敬老会、集落対抗ゴルフ大会、高校運動会、シバサシー、豊年祭
4月	入学祝い、喜界島マラソン(42.195km)、海開き、わんぱく相撲大会	10月	しまあそび、ふゆんみ、ウヤンコー、町民体育祭(学校区対抗)、幼稚園運動会
5月	野球、グラウンドゴルフ大会など各種スポーツ大会	11月	島内一周駅伝大会、小中高合同演奏会、ソーメンガブー
6月	陸上記録会、ゲートボール大会、スローピッチ大会	12月	大晦日祭

集落組織

婦人会、青年団、壮年団、老人クラブなど、年齢と性別によって所属する組織があります。各組織の代表と自治会長に当たる小組合(こくみあい)長が集まる定例会で日々の集落運営を討議し、必要に応じて年に数回集落民全員が集まる総会を開催するところが多いです。島の都市部では組織活動も希薄ですが、都市部以外での集落組織は自治に関わる部分も多いので活動も盛んです。参加は強制ではありませんが、よほどの理由がない限り「入らない」とは言い辛いです。

集落運営費

集金される「集落費」と、お祭り等で集められる「寄付」に分かれます。



集落費

自治会費のことで、各集落で集金します。集落費の大半は集落公民館等の維持管理にかかる光熱費や集落の役員報酬などに充てられますが、用途の詳細は集落によって違い、1,500円前後/世帯/月が多いです。集金のタイミングは月ごとから年一括と集落によってバラバラです。住み始めてから集落費の金額の高さにびっくりする移住者が多いので、住まいを決める時に集落の小組合長に集落行事や集落費について予め確認することをお勧めします。

寄付

主に豊年祭で集められ、祭りの経費に充当されます。金額は1世帯当たり1,000円～3,000円が一般的です。集落費と違い、参加者だけが払い、金額も決まっているわけではありません。



発行: 奄美群島広域事務組合
〒894-0023
鹿児島県奄美市名瀬永田町18番6号

TEL: 0997-52-6032
FAX: 0997-52-9618
URL: <http://www.amami.or.jp/>

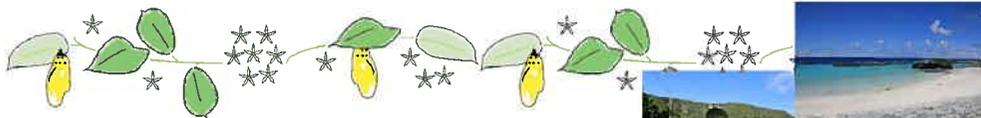
<発行: 2021年7月>

喜界島移住ガイド

喜界島 移住

喜界島は奄美大島本島の北東端、北緯28度19分、東経130度00分の地点にあって、鹿児島から約380km、奄美大島から約25kmの位置にあります。面積は56.82km²と小さな平坦な島で、河川という河川はなく、島で一番高い所でも標高211mしかありません。10万年前にサンゴ礁が隆起してできた島で、今も年間平均約2mmの速度で隆起しており、この隆起速度は世界でもトップクラスです。気候は亜熱帯海洋性で、年間の平均気温は22℃、夏の平均気温は約27℃、冬の平均気温は16℃。年間を通して温暖な気候ではありますが、冬場は風が強く、体感温度は低く感じられます。自然豊かな喜界島には、阿伝(あでん)集落のサンゴの石垣、ガジュマル・フクギ・ソテツなどの巨木、町の保護蝶であるオオゴマダラ(別名:南の島の貴婦人)や渡り蝶アサギマダラなどが生息しています。ハブは生息していません。





喜界町には、約7,000人が生活しています。主な産業は農業です。総面積の約40%にあたる22.5km²が耕地で、基幹産業のサトウキビ、日本一の生産量を誇る白ゴマ、マンゴーやトマトなどが栽培されている他、花良治みかんなどの在来柑橘類が多くあります。

県道619号線が外周約32kmの島を一周し、628号線が浦原～湾を横断する道路となっています。公共交通機関はバスですが、島民のほとんどがマイカーを利用しています。

ファミレスはないですが、小さな電気店、スーパー、ホームセンター、商店があり、生活必需品は島内で購入できます。インターネット通販は配達までに数日かかり、離島送料を加算される場合もあります。大きな買い物は奄美大島か鹿児島島に行く島民もいます。



詳しくは↑



(2021/4/1現在)

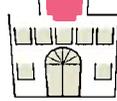
	人口	世帯数
喜界町	6,767人	3,744世帯

HEALTHCARE

詳しくは↓



総合病院の徳洲会病院があります。ただし、診療科によっては医師が常勤しておらず、定期的に島外から専門医が来島し、診療します。鹿児島県立大島病院(奄美市名瀬)が奄美群島をカバーする「奄美ドクターヘリ」を運航しています。出産や大きな手術では奄美大島か鹿児島島に行く島民が多いです。



携帯電話は概ね全島をカバーし、インターネットは光回線が標準となっています。下水は湾・赤連などの一部地域で下水が集落共同浄化槽が敷設されていますが、それ以外の地域は浄化槽となります。

詳しくは↓



COMMUNICATION



移住に関する行政窓口



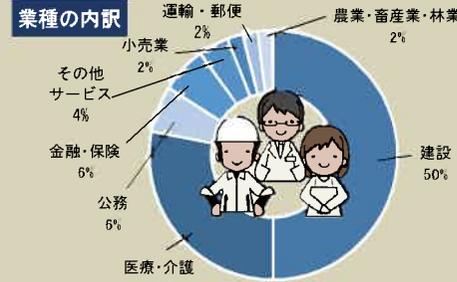
喜界町 企画観光課
 〒291-6292
 鹿児島県大島郡喜界町高1146
 TEL: 0991-65-3623
 FAX: 0991-65-4316
 HP: <http://www.town.kikai.jp/>

仕事に関する留意点

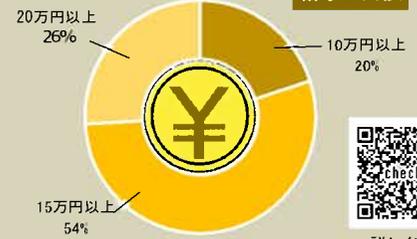
地縁・血縁者からの紹介を除くと、ハローワーク、新聞の折り込み、店舗での貼り紙がほぼ全ての求人になります。ハローワークは月2回求人情報を発行しています。喜界島は求人件数自体が非常に少なく、その中での求人は医療・介護、運輸、建設の仕事が中心で、賃金も都会に比べるとかなり低いのも事実です。地元の人には求人情報を頼らなくても良い仕事が紹介されたりしますが、知り合いがいない移住者には良い仕事の情報が回ってくることはないと思ったほうがいいでしょう。

当面の生活資金を持たずに「何とかなるさ」と考えて移住してきて、何とかならず本土に戻る人もいます。行政の起業・就労支援もあるので、自営の道も視野に入れるのも一つでしょう。「移住しなければよかった」とならないように、厳しい雇用状況を踏まえ、「それでも移住したいか」を一度は冷静に考えてみてください。

業種の内訳



給与の内訳



ハローワークの求人情報(2020/4~2021/3)を採りややかなが独自集計しています。複数掲載された求人は重複集計しています。月額賃金の最低保証金額で、基本給+歩合給の場合は基本給で集計しています。歩合給のみの求人は集計から除外しています。



教育機関や行政の子育て支援は



移住体験プログラムは



住まいの現状

不動産会社が1社ありますが、流通物件は極めて少ないです。仲介物件は転勤者対象の家賃が高めの物件が多いです。家主と借主の相対取引が主体で、住宅不足から借主が引越を決める段階で次の借主が決まっていることも多いです。希望通りの物件に巡り合うためには時間がかかることは覚悟した方がよいでしょう。

喜界島の不動産事情

- 築古物件が主流
- 転勤世帯向け住宅以外は相対取引が主流
- 設備が老朽化しているか、壊れている物件も多い

詳しくは→



住まいに関する行政支援情報は



不動産物件情報は



定住促進住宅や移住体験住宅、リフォーム助成など、住宅や移住に関しての行政支援施策が掲載されています。